

# 平成18年度 高知コアセンターシンポジウム

## ～研究成果発表会・全国共同利用研究成果報告会～

開催日時：2006年11月29日（水）10時～16時55分

会場：高知大学物部キャンパス内 高知コアセンター セミナー室

### プログラム

#### 10:00-10:05 開会挨拶

#### 10:05-12:25 高知コアセンター 研究成果発表

- 堀川恵司（高知大）：「歳差周期に制御される熱帯域の海洋変動：東赤道太平洋の例」
- 佐川拓也（高知大）：「北海道十勝沖コアの有孔虫 Mg/Ca からみた親潮水温変動」
- 池原 実（高知大）：「北西太平洋における最終氷期以降の黒潮流路・勢力変動」
- 岡村 慶（高知大）：「伊豆小笠原弧明神礁カルデラにおける熱水探査」
- 村山雅史（高知大）：「南極海域の高精度年代法の確立に向けて」
- 吉村康隆（高知大）：「東南極・リュツォ・ホルム岩体ルンドボークスヘッタに産する超高温変成岩類の鉱物化学組成」
- 橋本善孝、桐川隆之、高木美恵（高知大）：「沈み込み帯プレート境界サイスミックフロント近傍の静岩圧と流体圧の関係」

#### 13:30-15:10 全国共同利用成果報告

- 坂口真澄（マリン・ワーク・ジャパン）、石塚英男（高知大）：「IODP Expedition 301 ファンデフーカ海嶺東翼における上部海洋地殻の熱水変質作用」
- 井上和紀（東大）、村山雅史（高知大）、玉木賢策（東大）：「海底堆積物の解析によるアデン湾のモンスーン変動に関する研究」
- 兵頭政幸（神戸大）、D.K. Biswas、野田多馨子、富岡尚敬（神戸大）、三島稔明（高知大）、糸田千鶴（太成学院大）、佐藤裕司（兵庫県立大）：「大阪湾堆積物コアから復元した数百年～千年スケールの地磁気逆転磁場変動」
- 新妻祥子（東北大）、榊施祝、根建心具（鹿児島大）、小玉一人（高知大）：「西オーストラリア・ピルバラ地塊に分布する27.7億年前のマウントロー玄武岩と堆積岩の古地磁気」

#### 15:30-16:50 高知コアセンター 研究成果発表

- 石川剛志（JAMSTEC）：「高知コア研究所同位体地球化学研究チームの立ち上げと1年間の成果」

○徐垣、林為人、広野哲朗、谷川亘(JAMSTEC)、三島稔明(高知大)、石川剛志、谷水雅治  
(JAMSTEC) : 「台湾チェルンブ断層掘削研究の最近のトピック」

○三島稔明(高知大) : 「台湾チェルンブ断層掘削コア試料の岩石磁気分析」

○Kodama K. (Kochi Univ) and Lee Y.S. (KIGAM) : "Short geomagnetic reversal at the  
Paleocene-Eocene Thermal Maximum.◆ --Possible response of geodynamo to catastrophic global  
climate change--"

**16:50-16:55 閉会挨拶**